

# ピムコ・ハイイールド・ファンド Bコース（為替ヘッジあり）

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第257期（決算日2025年8月20日） 第258期（決算日2025年9月22日） 第259期（決算日2025年10月20日）  
第260期（決算日2025年11月20日） 第261期（決算日2025年12月22日） 第262期（決算日2026年1月20日）

作成対象期間（2025年7月23日～2026年1月20日）

第262期末（2026年1月20日）	
基準価額	7,824円
純資産総額	643百万円
第257期～第262期	
騰落率	1.7%
分配金（税込み）合計	42円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「ピムコ・ハイイールド・ファンド Bコース（為替ヘッジあり）」は、2026年1月20日に第262期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;140465&gt;

## アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

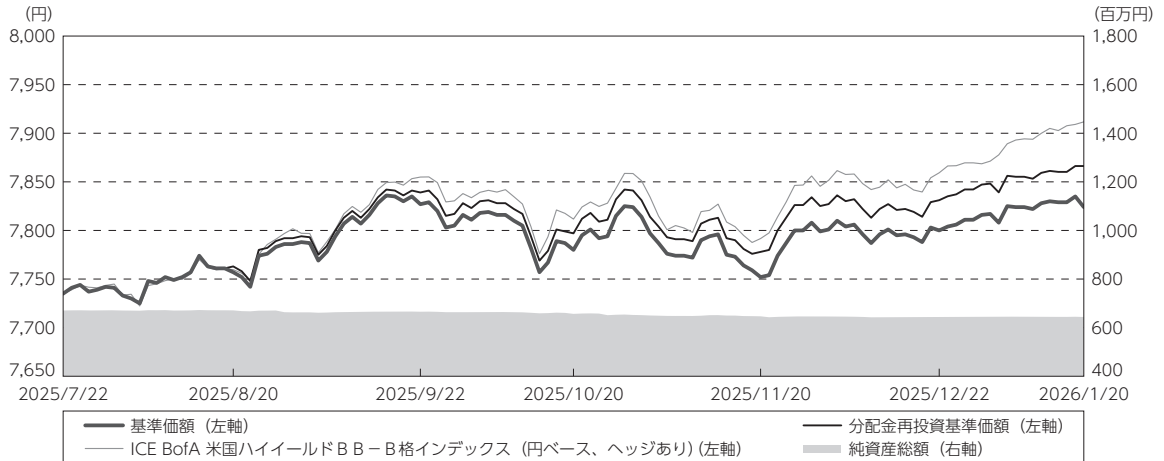
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2025年7月23日～2026年1月20日)



第257期首：7,735円

第262期末：7,824円 (既払分配金 (税込み) :42円)

騰落率：1.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA 米国ハイイールドB B-B格インデックス (円ベース、ヘッジあり) は、作成期首 (2025年7月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ICE BofA 米国ハイイールドB B-B格インデックス (円ベース、ヘッジあり) は当ファンドの参考指数です。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

### <値上がり要因>

- ・組み入れていた債券から利子収入を得たこと。
- ・米国国債利回りが低下 (債券価格は上昇) したこと。
- ・スプレッド (米国国債に対する上乗せ金利) が縮小したこと。

<値下がり要因>

- ・期間中、局所的な信用不安の高まりがスプレッドの拡大要因となったこと。
- ・為替ヘッジに伴うコストが発生したこと。

1万口当たりの費用明細

(2025年7月23日～2026年1月20日)

項 目	第257期～第262期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 64	% 0.823	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(34)	(0.439)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(28)	(0.357)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.002	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.825	
作成期間の平均基準価額は、7,791円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

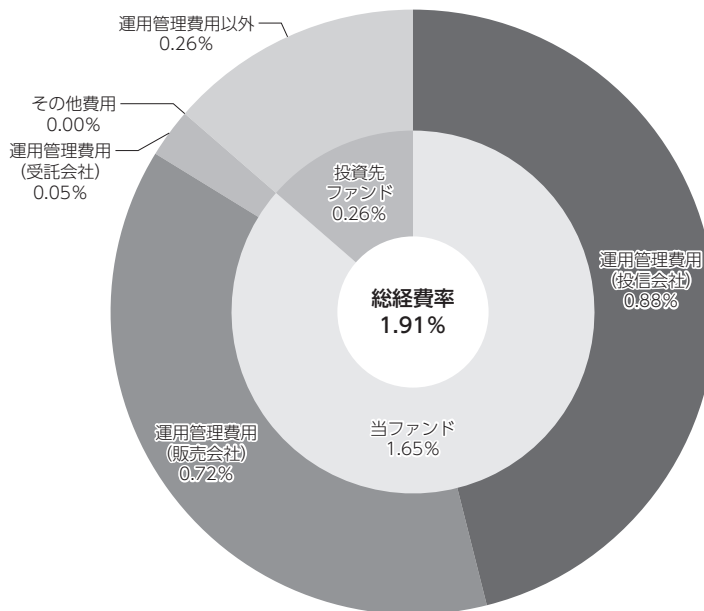
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.91%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.91
①当ファンドの費用の比率	1.65
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.26

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

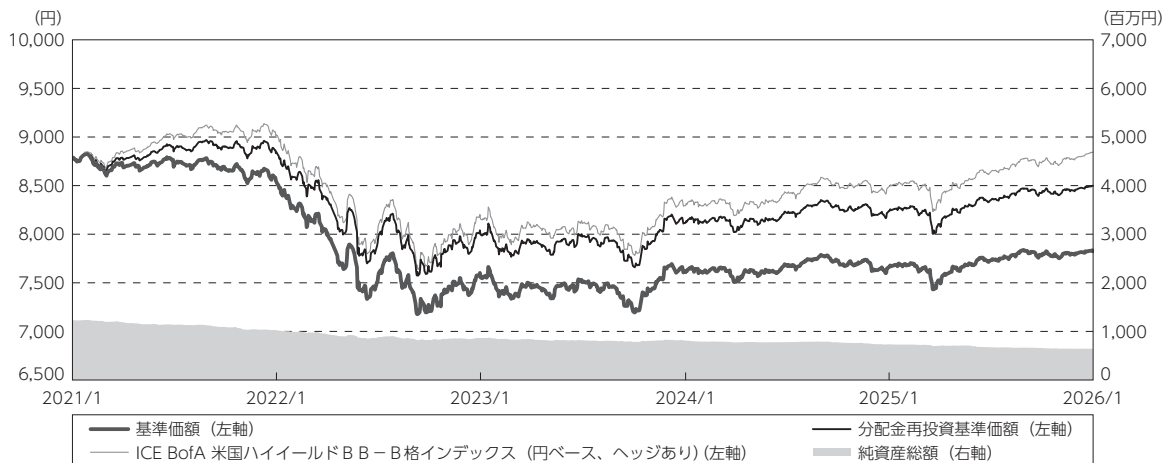
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2021年1月20日～2026年1月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA 米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は、2021年1月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年1月20日 決算日	2022年1月20日 決算日	2023年1月20日 決算日	2024年1月22日 決算日	2025年1月20日 決算日	2026年1月20日 決算日
基準価額 (円)	8,777	8,536	7,556	7,609	7,664	7,824
期間分配金合計(税込み) (円)	—	307	165	60	60	78
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.8	△ 9.6	1.5	1.5	3.1
ICE BofA 米国ハイイールド BB-B格インデックス (円ベース、ヘッジあり) 騰落率 (%)	—	2.8	△ 9.6	1.7	2.4	4.2
純資産総額 (百万円)	1,231	1,022	862	808	735	643

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) ICE BofA 米国ハイイールドBB-B格インデックス(円ベース、ヘッジあり)は当ファンドの参考指数です。  
 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

**投資環境**

（2025年7月23日～2026年1月20日）

**（米国ハイイールド社債市況）**

期間の前半は、2025年7月の米国非農業部門雇用者数が市場予想を下回ったことに加え、米国自動車部品企業の経営破綻や地方銀行の不良債権を巡る問題を懸念視する動きから、スプレッドは大きく拡大しました。その後は、信用不安は局所的なものにとどまるとの見方が広がり、市場が落ち着きを取り戻したことや、11月の米国CPI（消費者物価指数）の下振れが株式市場で好感されたことなどから、スプレッドは縮小基調となりました。期間を通じてみると、スプレッドが縮小したことに加え、米国国債利回りの低下がプラス要因となり、米国ハイイールド債券市場は上昇しました。

セクター別では、運輸や通信などが他のセクターを上回るパフォーマンスとなりました。一方で、レジャーやテクノロジーなどが他のセクターを下回るパフォーマンスとなりました。

**（国内短期金利市況）**

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺から、2025年12月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.73%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.40%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.68%近辺で期間末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年7月23日～2026年1月20日)

### (当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

### (PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり))

運用では、慎重な姿勢を維持しながらも、投資妙味のある業種・銘柄の選別を行なう方針としました。具体的には、米国の関税政策の影響を相対的に受けにくい金融セクターへの投資比率を高めとしました。一方、リテールセクターへの投資比率を低く抑えました。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないました。

### (マネー・マーケット・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

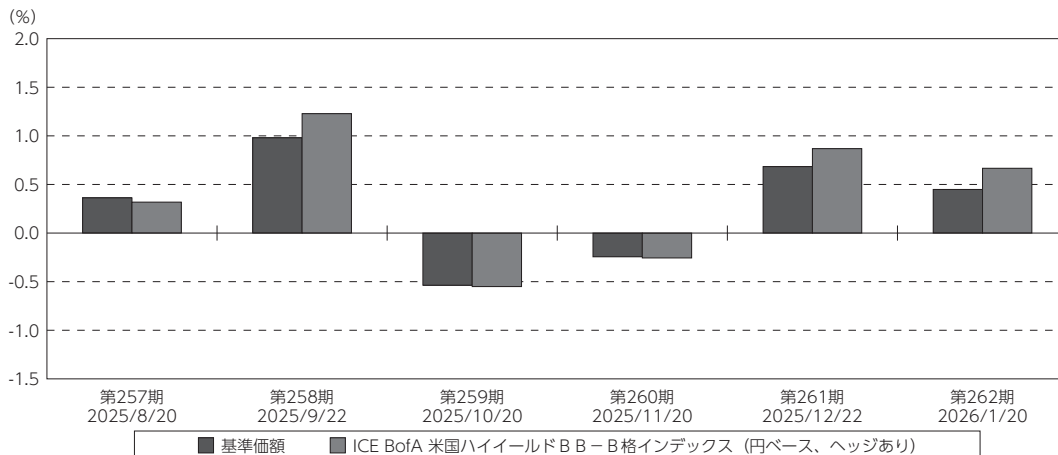
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年7月23日～2026年1月20日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

(注) ICE BofA 米国ハイイールドB B-B格インデックス (円ベース、ヘッジあり) は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

（2025年7月23日～2026年1月20日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第257期	第258期	第259期	第260期	第261期	第262期
	2025年7月23日～ 2025年8月20日	2025年8月21日～ 2025年9月22日	2025年9月23日～ 2025年10月20日	2025年10月21日～ 2025年11月20日	2025年11月21日～ 2025年12月22日	2025年12月23日～ 2026年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	6 0.077%	6 0.077%	5 0.064%	9 0.116%	5 0.064%	11 0.140%
当期の収益	6	6	5	8	5	11
当期の収益以外	—	—	—	0	—	—
翌期繰越分配対象額	1,092	1,102	1,103	1,102	1,110	1,116

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

## (当ファンド)

引き続き、「PIMCO米国ハイイールド・ファンド（為替ヘッジあり）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

## (PIMCO米国ハイイールド・ファンド（為替ヘッジあり）)

米国については、関税政策の影響により成長の減速および労働市場の軟化が見込まれるものの、財政刺激策に加え、継続的なAI（人工知能）投資や資産効果の改善が下支えとなり、2026年の成長率は2%前後で維持されると予想しています。インフレ率は、2026年前半にかけて3%程度で推移した後、後半にかけて徐々に鈍化する見通しです。関税に伴うインフレ押し上げ効果が弱まることに加え、新米国連邦準備制度理事会（FRB）議長の下で金融政策スタンスが徐々に緩和的な方向へ傾くことで、2026年末時点の政策金利は3%近辺と予想しています。

米国ハイイールド債券市場については、足元ではリファイナンスが既存の発行の多くを占めており、金利低下に伴ない信用力の高い企業を中心に満期を延長しながらクーポンを引き下げる動きを強めています。特に、2020年から2021年にかけて低金利環境で発行された債券が2026年以降に順次満期を迎えるため、予定償還額は2027年から2028年にかけて徐々に拡大し、2029年にピーク（マチュリティー・ウォール）を迎えると予想されています。信用力の低い発行体にとっては、今後の市場環境次第でリファイナンスが難しくなる可能性があります。信用力の高いBB格の発行体は、流動性の高い足元の環境にて早期にリファイナンスを実施し、将来のリスクを軽減する動きが継続するとみられることから、当面は市場の安定性が保たれると考えています。

上述の見通しの下、当戦略は慎重な姿勢を維持しながらも、投資妙味のある業種・銘柄の選別を行なう方針です。具体的には、旅行などコト消費への消費スタイルの変化から恩恵を受ける宿泊等への投資

比率を高めとします。一方、大規模な設備投資が求められ、かつコモディティ価格の変動に左右されやすい金属・鉱業等への投資比率を低く抑える方針です。

外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行いません。将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### （マネー・マーケット・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2025年7月23日から2026年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

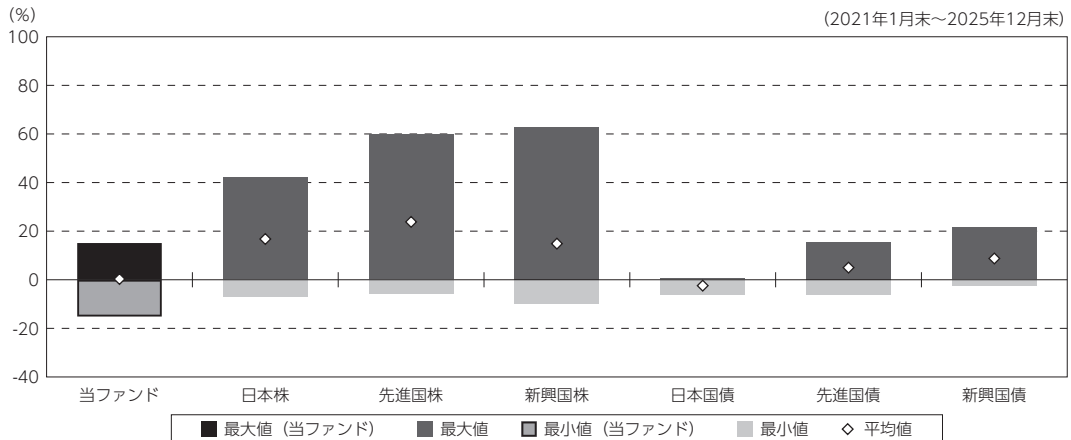
当ファンドについて、委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更したため、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第1条、第20条）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2004年3月10日から原則無期限です。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「PIMCO米国ハイイールド・ファンド（為替ヘッジあり）」受益証券 「マネー・マーケット・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンドは、主として、米国のハイイールド債に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。主としてB B格～B格相当の米国社債の中から、相対的に魅力的な利回り、高いリターン、信用力の改善が見込まれる社債を中心に投資を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	15.1	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 15.1	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.3	△ 6.1	△ 2.7
平均値	0.3	16.8	23.8	14.9	△ 2.4	5.0	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年1月から2025年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株: TOPIX (東証株価指数) 配当込み

先進国株: MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI 国債

先進国債: FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債: JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドの参考指数について

●ICE BofA 米国ハイイールド B B - B 格インデックス (円ベース、ヘッジあり)

[ICE BofA 米国ハイイールド B B - B 格インデックス] は、[ICE Data Services] が算出する米国の高利回り債券の値動きを示す指数です。同指数の (円ベース、ヘッジあり) とは、現地通貨ベースの指数を対円でヘッジし、円換算したものです。

指数について

●TOPIX (東証株価指数) 配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

●NOMURA-BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモウヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2026年1月20日現在)

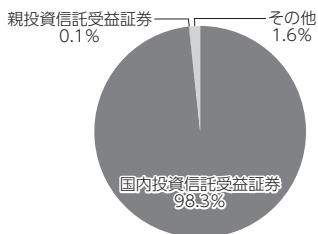
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第262期末
	%
PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)	98.3
マネー・マーケット・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

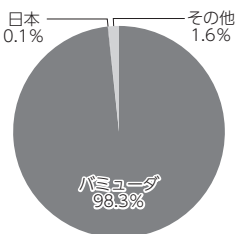
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

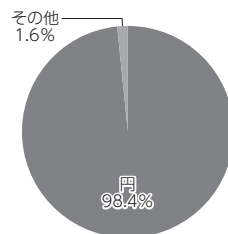
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍 (邦貨建) の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第257期末	第258期末	第259期末	第260期末	第261期末	第262期末
	2025年8月20日	2025年9月22日	2025年10月20日	2025年11月20日	2025年12月22日	2026年1月20日
純資産総額	671,101,440円	665,548,220円	656,741,033円	646,672,585円	643,613,124円	643,894,170円
受益権総口数	865,119,839口	850,304,267口	844,179,950口	834,204,459口	825,142,416口	822,975,474口
1万口当たり基準価額	7,757円	7,827円	7,780円	7,752円	7,800円	7,824円

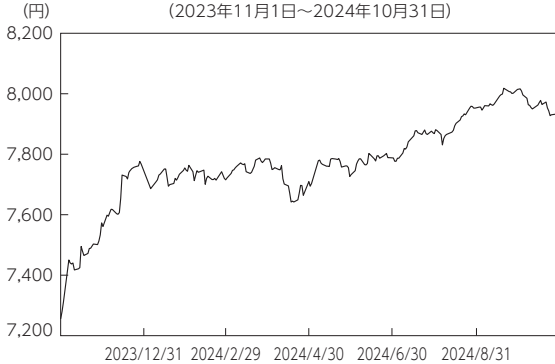
(注) 当作成期間 (第257期～第262期) 中における追加設定元本額は3,809,153円、同解約元本額は47,738,962円です。

組入上位ファンドの概要

PIMCO米国ハイイールド・ファンド (為替ヘッジあり)

【基準価額の推移】

【1万口当たりの費用明細】



(2023年11月1日～2024年10月31日)  
 (2023年11月1日～2024年10月31日)  
 当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【組入上位10銘柄】

(2024年10月31日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	比率
				%
1	CCO Holdings LLC 5.375% due 06/01/2029	社債等	アメリカドル	1.3
2	TransDigm, Inc. 7.104% due 02/28/2031	バンクローン債務	アメリカドル	1.2
3	Carnival Corp. 7.435% due 10/18/2028	バンクローン債務	アメリカドル	0.9
4	Venture Global Calcasieu Pass LLC 3.875% due 11/01/2033	社債等	アメリカドル	0.8
5	American Airlines, Inc. 5.750% due 04/20/2029	社債等	アメリカドル	0.7
6	OneMain Finance Corp. 6.625% due 01/15/2028	社債等	アメリカドル	0.7
7	Live Nation Entertainment, Inc. 3.750% due 01/15/2028	社債等	アメリカドル	0.7
8	Medline Borrower LP 3.875% due 04/01/2029	社債等	アメリカドル	0.7
9	Freedom Mortgage Corp. 12.000% due 10/01/2028	社債等	アメリカドル	0.6
10	New Red Finance, Inc. 4.000% due 10/15/2030	社債等	アメリカドル	0.6
	組入銘柄数		485銘柄	

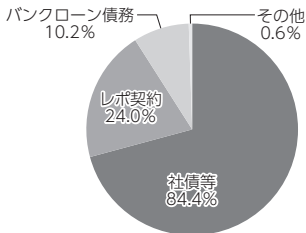
(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

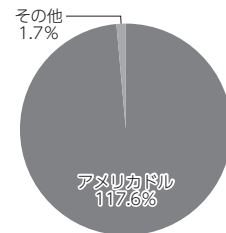
【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】



必要な情報が開示されておりません。



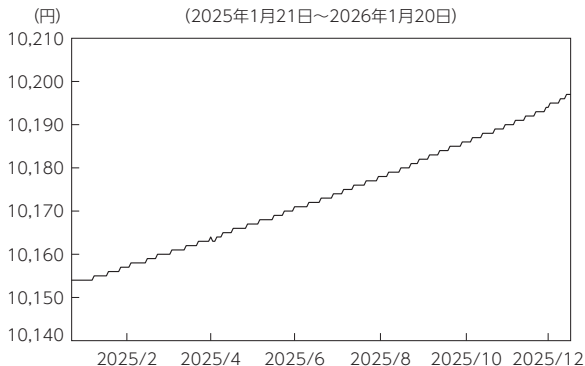
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、実質的な運用を行なっているPIMCOバリュースタッド米国ハイイールド・ファンド(M)の情報です。

マネー・マーケット・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年1月21日～2026年1月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月21日～2026年1月20日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2026年1月20日現在)

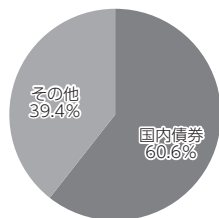
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	第457回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	60.6%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

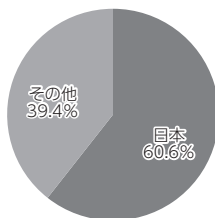
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

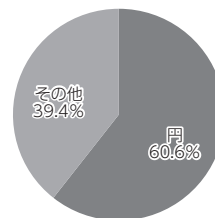
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。